

庵治石

庵治町は日本の有名な花崗岩産地のひとつとされている。庵治の花崗岩、ブランド名で「庵治石」は「ダイヤモンド・グラナイト」と呼ばれる。石英と長石を主成分とする天然の白石だが、少量の黒雲母が混じっているため、独特のまだら模様が見られるのが特徴だ。

庵治石は、芸術家や石工の間では、細かさと極めて高い耐久性が珍重されており、建築物や屋外彫刻などの装飾品に最適な素材となっている。庵治石は石英に匹敵する硬さを持ち、他の花崗岩に比べて彫刻の精度が高いことで知られている。イサム・ノグチ（1904-1988）や流政之（1923-2018）などの国際的に著名な芸術家たちは、庵治や隣町の牟礼にアトリエを構え、庵治石を容易に入手できるようにしていた。庵治町と牟礼町には、現在約 200 人の石工や石材商がいる。

庵治石は、庵治と牟礼の間にある五剣山から切り出される。この山は世界で唯一の庵治石の産地として知られている。